



子ども樹木博士 ニュース

2021 - 6

No. 83

子ども樹木博士認定活動推進協議会

巻頭言



20周年を迎えた子ども樹木博士 —オンライン活動の提案—



東京農工大学名誉教授 木平 勇吉

子ども樹木博士の組織が平成12年に出来てから今年で満20年を迎えました。実施者、事務局そして多くの参加者の皆様のご努力によりこの間に素晴らしい成果を挙げられたことにお祝いを申し上げます。

ところが、最近では野外に集合しての勉強活動が難しくなり、代わって「オンライン」授業が必要になってきました。野外で樹木の実物に触れて、形や色を知り、香りを嗅ぐことは樹木を知り親しむには大切ですが、簡便な方法として「オンライン」を考えてみました。

基本的な方法は樹木の葉や花の写真を指導者にネット回線で送り、その名前を教えてください。これにより子どもが興味を持つようになり樹木博士に挑

戦するのは素晴らしいことと思います。そこで指導者は樹木の名前を知りたい子どもの疑問に答えるネットの仕組みを用意することが必要です。このような樹木博士の活動を支援する類似の機能を持つプログラムはすでに沢山使われています。出来るだけ使い易い方法をメールや、スマホなどを使い樹木の名前を知りたい子供の質問に答えるネットの仕組みを用意することで、是非とも使い易いネット仕組みを広めて樹木博士の活動が活発になるように期待しています。

筆者が考えた簡単なオンラインの例を紹介します。まず、自分で実際に試してください。実施のチラシです。

「身近で名前を知りたい樹木があれば「メール」を使って下記へ問い合わせして下さい。お答えします。

方法① その樹木の葉や花の写真を次のメールへ送ってください。

方法② 送信された写真を私が見て名前が判ればメールで名前を返信します。

方法③ 返信メールを受けて終わりです。

送り先メール 「ykonohira@yahoo.co.jp」

返答責任者 コノヒラユウキチ

費用はなし

答える期間 とりあえず6月30日まで

参加できる人 制限なし（メールを使えるひと）

【目次】

巻頭言	20周年を迎えた子ども樹木博士—オンライン活動の提案—	東京農工大学名誉教授 木平 勇吉	1
特集Ⅰ	植物の不思議 ツルの戦略	森林インストラクター 安樂 行雄	2
特集Ⅱ	観察会テンパリ日記(21)	森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗	3
事例報告	木育マイスター道東支部における子ども樹木博士認定活動について	木育マイスター道東支部 高橋 秀明	4
シリーズⅠ	樹木名の話(21) —リョウブ—	森林植物研究家 埴田 宏	5
シリーズⅡ	東南アジアの木々たち(51) —世界とアジアのコロナ対策—	自然と植物の観察会 TREECIRCLE 梅本 浩史	6
子ども樹木博士質問コーナー(63)		一般社団法人日本森林インストラクター協会 会長 寺嶋 嘉春	7
事務局だより			8

特集 I



植物の不思議 ツルの戦略 —巻き付かないつる植物—



森林インストラクター 安楽 行雄

一般的に「ツル」植物は、他物（主に樹木）に巻き付きながら成長するのが常です。しかし、巻き付かずに成長するつる植物も多くあります。

●吸いつき体を支え、成長するツタ

ツタを知らない人はいないと思いますが、その成長方法を見てみましょう。

ツタは伸びるときには、巻きひげは葉に対生して、2節続いて出ると、次の節には出ない。巻きひげの先は、吸盤（丸い、複数）が出て、自分の体（幹）を滑り落ちないようにしっかり吸い付き、体を確保しています。このことを繰り返しながら成長するのです。林道の法面（のりめん）などをコンクリートで覆っているところで観察すると、このことがはっきりとわかります。



付着根が2個付き、次はついていない

●まっすぐ伸びて寄りかかるツルグミ

新芽がまっすぐに伸びて、ある程度の高さで、風に吹かれて近くの樹木に寄りかかる戦略をとっているのがツルグミです。

芽を出すとびっくりする程の速さで成長して、その先端は、風にゆすられて左右に揺れ動きます。その勢いで隣接する樹木に寄りかかり、体（幹）を定着させて、本格的な成長をします。

ツルグミは蔓の大きさに似合わない長い棘を持っており、その棘で近くにある樹木の枝や幹に寄りかかり伸びていきます。



矢印の先に蔓が直立に伸びている

●着生根（気根）で絡みつくとオオイタビ



雄花のう
上は雄花、下は虫えい花

オオイタビは環境の変化に対応するために、葉が極端に大きくなったり小さくなったりします。石垣などに吸着している葉はあまりにも小さいので見間違ってしまう。気根を無数に出して、取り付け、大きく成長します。

その成長ぶりもさることながら、雌雄異株の雄花のうを解剖すると、入口に雄花があり、奥には虫えい花（ちゅうえいか）があります。雌花のうには、雌花だけが多数つくと言われていますが、観察したことはありません。



気根（着生根）が吸着している

特集Ⅱ

観察会テンパリ日記 (21)



森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗

学校の授業をやると、先生から後日感想などを送ってきます。でも読むと「あー間違っ伝わっている。」と思うことが多々あります。「これは、こういう意味だったんです！」と、先生に伝えたこともありましたが、先生方にはそんな時間も余裕もないようで、私自身がその時間内で、誤解を生まないように伝えるべきなのです。でも受け取り方は子ども次第なところもあるのも確か。最近「大事な事だけでも、最後にクイズで確かめて終わろう。」と、簡単なクイズで終わるようにしています。

しかし、クイズの出し方もやってみたら難しいのです。例えばムクロジとクロモジと間違えて覚える人が多いので、

「今日洗濯遊びをした木の実の名前は？」

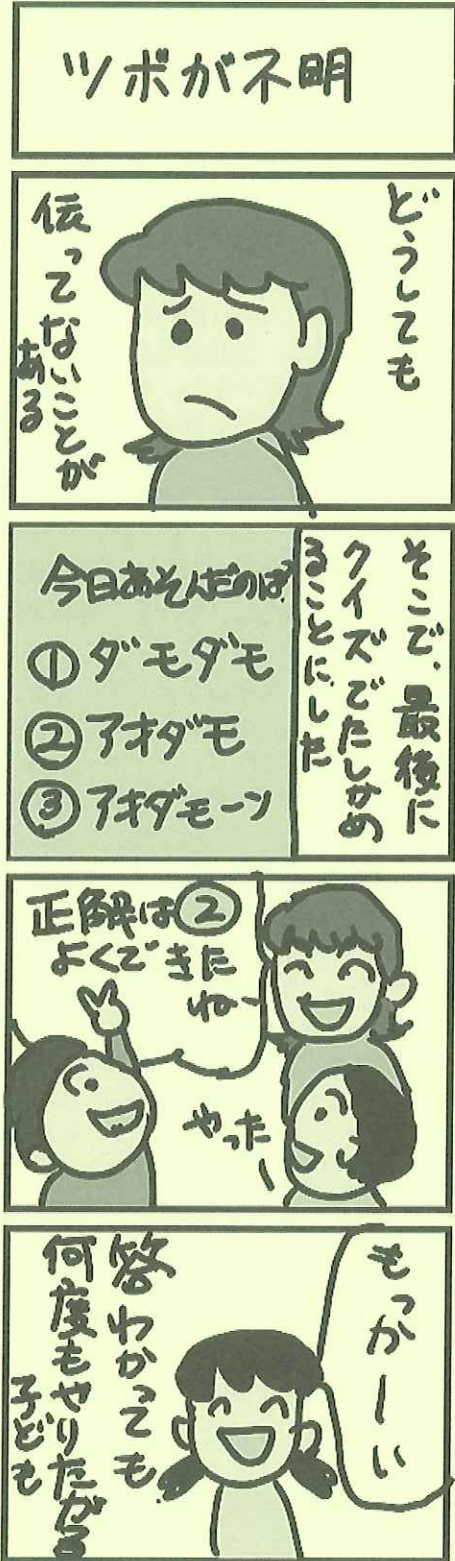
- ①クロモジ②ムクロジ

としたら、植物がまあまあ詳しい大人には良い選択枝かもしれませんが、ムクロジを初めて知った子がクロモジを選んだ場合、クロモジって木があるんだよと説明が必要になり、逆に混乱を生んでしまいます。それよりも、ムクロジで洗濯遊びをしたのに、そもそも木の実のことをわかっていないこともあるので、木の実が泡立った事実を理解することが最重要課題です。加えるなら選択枝もろとも、その樹種を覚えられるような方がいいと思い、

- ①ムクロジロウ②ムクロジージ③ムクロジ

なんていいかも。ムクロジージのムクロジと覚えてもらえそうです。

さっそく幼児対象のプログラムで、クイズをやってみたのですが、絶対間違えないだろうと思うのはこちらの予測で、幼児は想像をはるかに超えてきます。答えは「ムクロジージ？」となり、私は「おいしい！ほとんど正解！」と言うしかなく、そのうえ彼らは「もう一回！もう一回！」とすでに答えを知っているクイズを何度もやろうとするのです。私が「正解は③ムクロジです。みんな大正解！」と言うと大喜びで、「もっかい」とエンドレス。何が面白いのか、ツボが不明ですよ。まあ、子どものそういう所が私のツボでもあるので、楽しいです。今更ですが、幼児は文字が読めない子がほとんどなので、音で聞かせるので2択だなど思いました。お試しあれ。



事例 報告

木育マイスター道東支部における 子ども樹木博士認定活動について



木育マイスター道東支部(森林インストラクター・自然再生士・木育マイスター) 高橋 秀明

1 はじめに

北海道の木育で言うところの“木（もく）”とは、森林と木材の両方を表しています。木育とは「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組みとして「子どもをはじめとするすべての人が、木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを、主体的に考えられる豊かな心を育むこと」と定義し、①五感と響きあう感性～木と五感でふれあい、手づくり、考える経験を通して、人や自然に対する「思いやり」と「やさしさ」を育み、②共感できる心～身近な人と木で遊び、木に学び、モノをつくる体験を通じて、楽しさや喜びを共感し、地域や社会、産業への関心につなげ、③地域の個性を生かした木の文化～地域の森や木の良さを見直し、木が身近にある北海道ならではの暮らしや文化を提案し、④人と自然が共存できる社会～循環利用が可能な資源である木の可能性や、森や木に携わる仕事の素晴らしさを伝え、持続可能な未来へ向けた社会を目指しています。

木育マイスターは、北海道が認定する木育を普及させる専門家として、木育の理念を十分に理解し、木育活動の企画立案や全体的なコーディネートができ、地域において指導的な役割を果たす人材と位置づけられており、「木育マイスター道東支部」は主に北海道の東部を拠点に活動する木育マイスターの集まりです。それぞれに専門の多種多様なジャンルを持つ木育マイスターが自然体でつながりながら、幅の広いプログラムを意識しながら、木育活動を展開しています。

2 木育プログラムにおける子ども樹木博士認定の取組

木育マイスター道東支部では、毎年10月初旬に開催する「木に学ぼう！木で遊ぼう！こども木育デー(弟子屈町主催)」に林野庁や北海道、てしかが自然学校などの森林・林業・教育等の関係者と連携・協力して取り組んでおり、子ども樹木博士の認定活動については2017年度からプログラムの一つとして実施し、好評を得ています。

2020年度はコロナ禍の影響により、開催が危ぶまれていましたが、対策を徹底しつつ、10月10日(土)に無事4年目の実施とすることができました。

毎年、レベルを上げてくる子どもたち…今回は例年とは異なるフィールドでの開催にも係わらず、郷土樹種等20種類プラス2(①トドマツ、②アカエゾマツ、

③カラマツ、④イチイ、⑤ミズナラ、⑥カシワ、⑦イタヤカエデ、⑧ハウチワカエデ、⑨ヤマモミジ、⑩ベニイタヤ、⑪ハリギリ、⑫ハルニレ、⑬オヒョウニレ、⑭ヤチダモ、⑮シラカンバ、⑯ナナカマド、⑰エゾヤマザクラ、⑱カツラ、⑲キハダ、⑳ヤマグワ、㉑ヤマブドウ、㉒フッキソウ※順不同)のブラインドを見事に全問正解、さらに自分のお気に入りの樹木をガイドングできるような「子ども樹木博士」も誕生し、驚きとともに、これまでの取組の成果が着実に現れてきていることがとてもうれしく思っております。

認定証には【あなたは2020弟子屈町木育週間『森林体験教室』木に学ぼう！木で遊ぼう！こども木育デーにおいて、樹木に興味関心を持ちながら、良く観察し、調べ、知り、樹木の名前を識別することができました。依って審査規定に基づき子ども樹木博士の称号を授与します。今後も森に親しみ、益々精進されることを期待します。】と記しています。

子ども樹木博士の活動は、参加・体験した子どもたち等が、樹木に関する知識や経験・自信を獲得し、「木」への興味や関心を深め、その後の生活のツールとして日常の中で活用できる取組だと思えます。

それは「木とふれあい、木に学び、木と生きる」ことが日常の中で意識され、木育が目指す①五感とひびきあう感性、②共感できる心、③地域の個性を生かした木の文化、④人と自然が共存できる社会に向けた取組のきっかけとなると考えております。

これからの木育活動においても「子ども樹木博士認定活動」を積極的に実施させていただきたいと思っております。



シリーズⅠ

樹木名の話 (21)
—リョウブ—

森林植物研究家 埜田 宏

明るい二次林や林縁、崩壊地などに生育する落葉小高木、6月から8月にかけて、白い花穂が目立ちます。若い葉が食べられることや、りょうぶ飯という言葉を知ったことのある人は多いと思われます。

八坂書房の日本植物方言集成には、この植物の名が125通りもあり、多くの人々に親しまれたことが分かります。これらの名は、大きく二通りに分けられます。一つは、漢字表現の「令法」がもとになったリョウボウ、ジョウボ、キョウブ、ビョウブなどで、北陸から九州で使われています。もう一つは、サルスベリ、サルナメシ、サルダメシなど、動物のサルに関係した名です。滑らかな樹皮のため、百日紅やヒメシャラと同様に「サルも登れない」という意味、主に東北地方で使われています。



リョウブの花

令法は漢名ではなく和名です。大言海に「古へ、令して、葉を飢饉に備へしめれば、名とすと云ふ」とあり、リャウブの読み（現代仮名遣いではリョウブ）が定着したことが、江戸時代以降の本草書、百科事典、方言辞典、国語辞書に書かれ、現在に続いています。

リョウブ系の名が東北地方に広がっていない理由について、深津正（1976、植物和名語源新考）は、中央政府の官令が奥羽地方まで及ばなかったと考えました。ただ、その時代の官令は文書として残っていません。

「令法」の別の解釈が江戸時代後期に本草学者の曾占春が著した「国史草木昆虫攷」にあります。「令法とは、穀物のタネをまくときの分量のこと、農家の人は、これを畠賦（ハタツモリ）と言った。だから、新撰六帖に、令法と書いてハタツモリと読んだ。また、糧賦と令法の読みは似ているので、元々は糧賦ではないか（意識、新撰六帖は鎌倉時代の和歌集）」。

昭和初期の食生活を記録した「日本の食生活全集（農文協、1993）」によると、新潟、富山以西の本州、四国、九州で若葉を使ったりりょうぶ飯が作られ、「山の緑いっぱいのごはんは、ほんとにおいしい」、「風味があっつておいしい」などと書かれています。

東北の各県版にはリョウブの利用が記録されていませんが、米沢藩の「かてももの」には「さるなめしの葉」として、リョウブの食べ方が記載されています。これは、上杉家旧領の越後の風習だったのかも知れません。

現代の私たちは、リョウブの若葉を食べ、その風味を楽しむことができます。しかし、本来は救荒食物として保存・利用されてきたものです。田植え前にリョウブの若葉を大量に摘み、ゆでた後に、天日で干し、保存しました。これを湯でもどし、細かく刻んで米に混ぜ、見かけ上のご飯の量を増やしたのです。時には、米と同量をリョウブの葉で置き換えたとのこと。美味しいとは言えなかったことでしょう。



リョウブの樹皮はコルク層がはげ落ちるため、滑らか

シリーズⅡ

東南アジアの木々たち (51)
—世界とアジアのコロナ対策—



自然と植物の観察会 TREECIRCLE 梅本 浩史

自粛によってお花見の出来なかった春がまた過ぎ、季節はもう深緑の頃を迎えましたね。とても残念ですが、日本のコロナ感染は拡大の一途をたどっております…。

少し世界の様子に目を向けると、私の小学生時代の幼馴染みが住むニュージーランドでは、この4月の末にコロナ終息パレードが賑やかに行われました。豪州で環境保護に携わる友人らも、現在は安心して国内の移動を続けています。

中国や韓国でも、ほぼ感染拡大の封じ込めに成功し、世界的に最も評価の高い台湾では、住民生活に大きな支障の出るロックダウン（都市封鎖）すら行わずに、コロナの感染拡大を封じ込めました。

ベトナムでは、昨年のコロナ感染初期から、とても厳しい予防措置が全国規模で行われました。この感染防止施策のお陰で、経済成長をそのまま維持しながら、コロナウイルスを封じ込めています。

タイも、我が国より優秀にコロナを封じていたのですが、今年に入ってからの「変異株」の登場によって、再び感染者の急増をゆるめています。ウイルス感染症を封じ込める事の難しさを、改めて私たち日本人にも教えてくれているように感じます…。

現在、インドで猛威をふるっているインド型変異株

は、私たちアジア人の持つ“免疫から逃れる特徴”を持つとの論文が、東京大学や熊本大学などの研究チームから発表されています。この事は、現在のイギリス型変異株よりも、更に深刻な事態を引き起こすことが予測されています。

ワクチンの接種率で見ると、日本は世界196カ国中129位に留まり、収束の兆しがまだ見えない状況です。まずは、ワクチンの接種が最も重要となりますが、ワクチンの効果が不明な「変異株」がいくつも登場して来ており、それら“新しい変異株”にも効果を持つ新しいワクチンの研究・開発の方も、世界的規模で進められています。

また、現在の様な注射針を用いるタイプだけでなく、自宅でも簡単に出来る鼻スプレーや飲むお薬タイプのワクチンの開発も進められています。それらが、一日も早く出来る事を期待したいですね。

最後に、最も基礎的な事に立ち返りますが、コロナウイルスは主に「空気感染」、「飛沫感染」、「接触感染」で拡大します。それらを防ぐ生活を続けつつ、どうか“大切な命”をしっかりと守って行って下さい。

「南国に生える松のお話③」は、改めて次回にご紹介させていただきます。



COVID-Map Johns Hopkins Coronavirus Resource Center (<https://coronavirus.jhu.edu/map.html>)

子ども樹木博士質問コーナー(63)

一般社団法人日本森林インストラクター協会 会長 寺嶋 嘉春



Q 「なんじゃもんじゃ」と呼ばれる木について教えてください。

A ○『大言海』で調べると
富山房発行の『新編大言海(だいげんかい)』は、今から130年前の明治24(1891)年に大槻文彦氏が著したものです。



この辞典には、「なんじゃもんじゃ」とは、「何でふ物ぢゃ(なんという物か?)」の意味で、樹の名であるとし、ふたつの樹木が説明されています。

ひとつは、下総のカウ崎(現在の千葉県香取郡神崎町)の神崎神社の「なんじゃもんじゃの木」で、樹種はクスノキ。「それはなんぢゃ、こんなもんぢゃ」という意味で、水戸黄門が命名したと伝えられると記されています。



千葉県の神崎神社の「なんじゃもんじゃ」



神崎町立神崎小学校の「ヒトツバタゴ」

もうひとつは、ヒトツバタゴで、関東にただ一株のみといわれ、青山練兵場(現在は明治神宮)にあり、観兵式で明治天皇がこの木陰で閲兵(えっぺい)した。わが国ではめずらしい木である。と『大言海』に記されています。

現在、明治神宮では、その三代目が見られます。

上記、ふたつの樹木以外にも全国各地に「なんじゃもんじゃ」の木があります。これらは、地域の大きな樹木や見慣れない樹木に、その土地の人々が親しみを込めた呼び名であるといえます。

○「なんじゃもんじゃ」を調べてみよう!

ヒトツバタゴやクスノキのほか、神奈川県には、クロガネモチ、ホルトノキ、ハルニレ、千葉県にはマルバチシャノキ、アサダ、長野県には、ハリモミ、フジキ、福岡県には、タブノキなどがあり、日本の各地に、いろいろな「なんじゃもんじゃ」があります。みなさんも、住んでいる地方に「なんじゃもんじゃ」があるかどうか調べてみてください。

○ヒトツバタゴの名前

ヒトツバタゴは、江戸時代の植物学者水谷豊文が愛知県で発見し命名したとされています。モクセイ科のトネリコの仲間を「タゴ」といい、ヒトツバタゴと同じく5月頃に似た形の白い花を咲かせます。トネリコの仲間の葉は、羽根のような形の奇数羽状複葉ですが、ヒトツバタゴの葉は、一枚の長楕円形で普通の葉の形なので、このように名付けたのです。

○ヒトツバタゴの隔離分布

ヒトツバタゴは、自然の山で見られるのは、長野県、岐阜県、愛知県の一部と長崎県の対馬、朝鮮半島、台湾、中国の一部です。このように、遠く離れた特定の場所に分布する状態を「隔離分布(かくりぶんぷ)」といいます。

これは、昔、広く日本の各地にあった植物が、他の植物に押しやられて、はなればなれになって生きているもので、貴重な樹種といえます。

何千年、何万年の時間の経過とともに環境が変化し、樹木の分布も変化しているのです。

● ● 事務局だより ● ●

◆令和3年度 森林インストラクター「資格試験」と「養成講習Ⅱ」の申込みの受付が始まりました

◇受付期間：6月1日(火)～7月31日(土)

●資格試験

■一次試験 令和3年9月26日(日) 9:30～15:40

■試験会場

札幌会場	北海道経済センター (札幌市中央区北1条西2丁目)
仙台会場	ショーケー本館ビル (仙台市青葉区五橋2-11-1)
東京会場	TKP赤坂駅カンファレンスセンター (ホール13A) (東京都港区赤坂2丁目14番27号国際新赤坂ビル東館13階)
名古屋会場	東海工業専門学校金山校 (名古屋市中区金山2-7-19)
大阪会場	ツイン21MDタワー8会議室 (20階) (大阪市中央区城見2-1-61)
高知会場	高知城ホール (高知市丸ノ内2-1-10)
福岡会場	電気ビル本館 (福岡市中央区渡辺通2-1-82)

●養成講習Ⅱ (任意)

■日程等 令和3年8月14日(土)～21日(土)の8日間

■講習会場 林野会館 東京都文京区大塚3丁目28-7
(野外実習(1日)は八王子市の高尾山国有林の予定です。)

■科目等

森 林：森林の仕組み・植生の推移、樹木、森林の動植物、地質・土壌・水文など
林 業：山村と農林業、森林の効用、森林の施業、木材・特用林産物の利用など
野 外 活 動：森林レクリエーション、キャンピング、ネイチャークラフトなど
安全・教育：安全知識、救急法、環境教育、自然保護、指導技術、企画など

●資料請求

申込用紙はホームページ(下記のURL)からダウンロードできます。

また、140円切手を貼った返信用封筒(角2型)を同封して申し込むこともできます。

●申込先・問合せ先

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会

TEL: 03-5840-7471 FAX: 03-5840-7472

E-mail: info@shinrinreku.jp ホームページ: <http://www.shinrinreku.jp>

実施結果のご報告のお願い

子ども樹木博士認定活動(親子や大人を対象としたものも含みます。)を実施しましたら、当協議会会員、非会員を問わず、実施結果のご報告をお願いします。

報告用紙は、右記のURLのホームページからWordの用紙をダウンロードできます。報告用紙がない場合は、①実施団体名、②実施年月日、③募集人数、④参加人数、⑤対象者(小学生、親子など)、⑥実施場所を記載したメモを右記のFAX又はメールで子ども樹木博士認定活動推進協議会までお送りください。お手数をおかけしますがよろしくお願いたします。

子ども樹木博士ニュース

2021年6月1日 No.83

子ども樹木博士認定活動推進協議会

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階

一般社団法人全国森林レクリエーション協会内

TEL: 03-5840-7471 FAX: 03-5840-7472

E-mail: kodomohakase@shinrinreku.jp

URL: <http://www.shinrinreku.jp/kyokai/kodomokyou.html>

<http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>